

第10回 福井市公共工事等技術研究発表会 発表概要

通路切替で福井駅の利便性をキープ

事業課名

建設部 建築事務所 営繕課

1. 概要

事業名称

北陸新幹線福井駅(東口)拡張施設新築工事

事業場所・区域

福井市 手寄1丁目 地係

2. 事業内容

工事概要 鉄骨造 2階建 高さ約10m 延べ面積1,631m²

設計金額 11億660万円

主な施設
 1階 観光案内所(県内全域の観光情報を発信)
 待合・休憩スペース、レンタサイクル、階段広場
 2階 カフェ・展示・交流スペース
 屋上 広場

コンセプト 北陸新幹線福井駅は「太古から未来へ ~ 悠久の歴史を未来へつなぐシンボルゲートとなる駅」をデザインコンセプトをして設計されている。
 北陸新幹線駅舎と拡張施設は、単体として独立したデザインではなく、周辺施設と調和させながら、東口全体として一つの風景を創り出すため、その中心となる施設として、美しく、格調高いデザインとしました。

3. 取組みのポイント



本工事を行うためのポイント

北陸新幹線駅舎の構造物と接合した建物となるためクリアランスがゼロであり、建ぺい率が約77%と手狭な工事である。

工事施工ヤードが狭く作業・機械の移動・旋回が困難な現場で、周囲に影響がある工事福井駅及び東口ロータリーを使用しながらの工事である。

JR西日本、えちぜん鉄道、道路管理者(県)、鉄道運輸機構との間で、歩行者動線の確保の方法や時期等について協議及び工程調整が必要となる工事である。

福井駅、えちぜん鉄道、東口ロータリーを使用しながらの工事となり、東西の歩行者動線を活かしながら工事を行う必要がある。

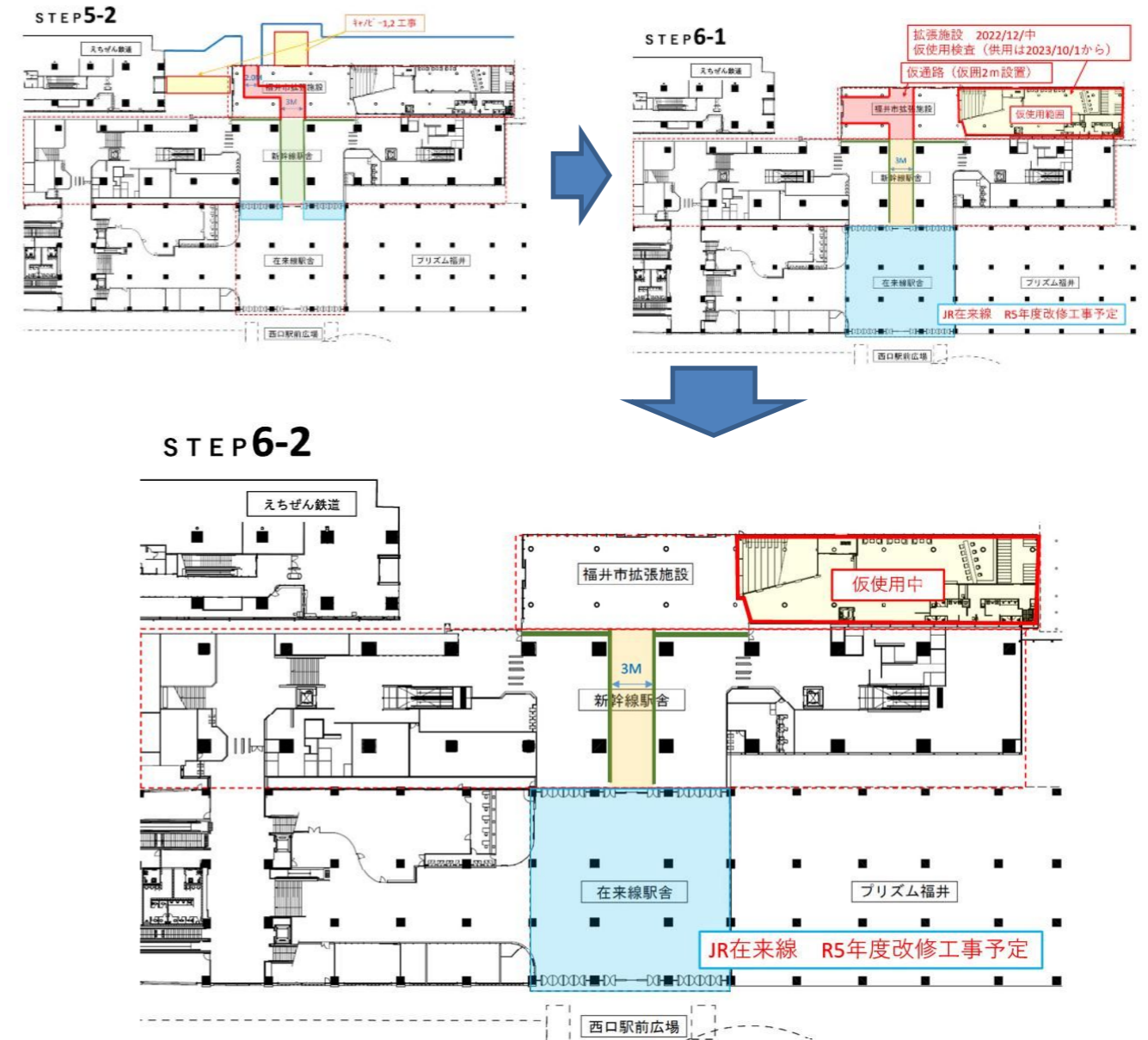
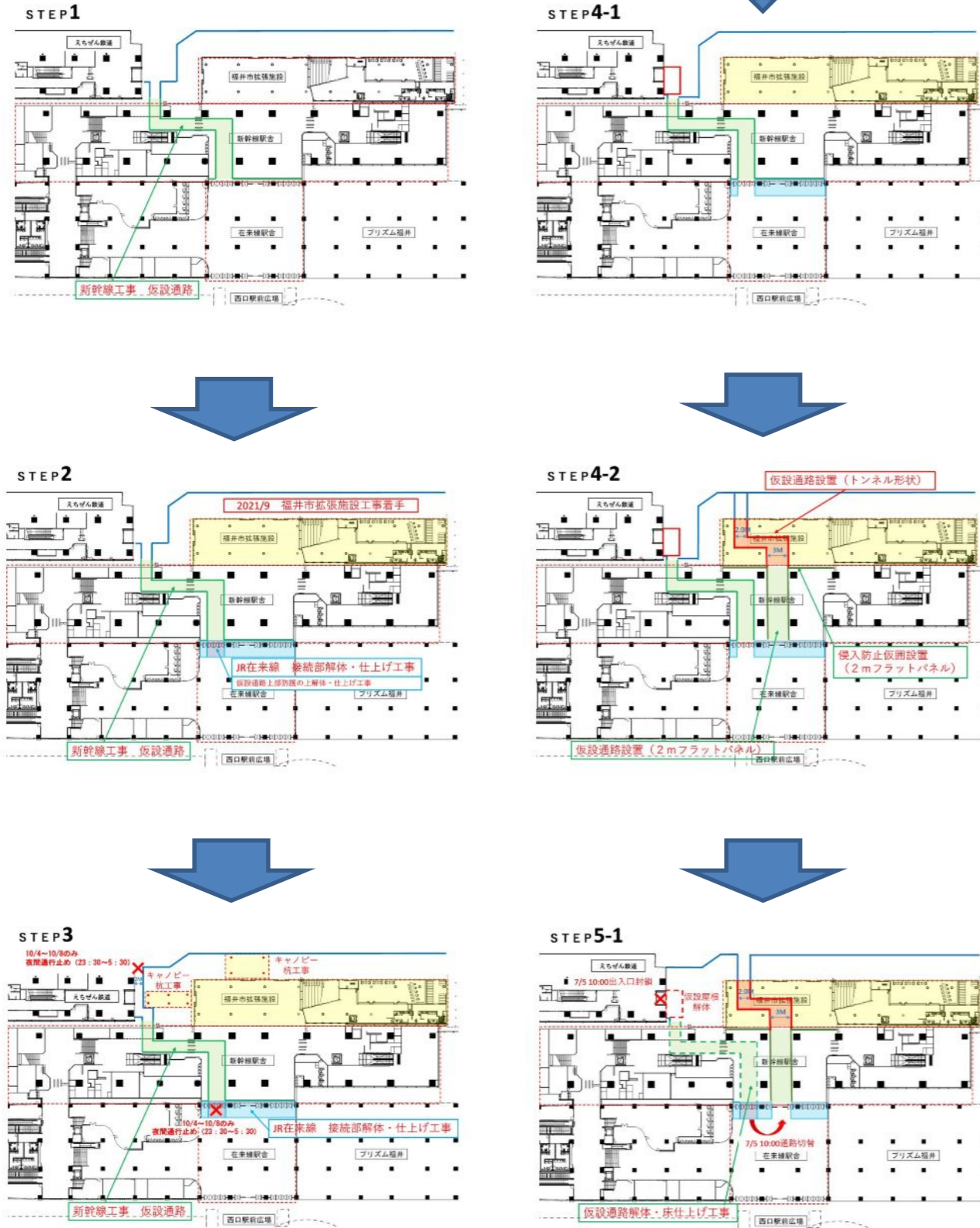
コスト改善に向けた取組み

工事期間中、福井駅西口 - 東口間の通行止めによる社会的影響を低減する



工事の進捗に合わせて、東西通路の切替えを行う

4. 取組みの詳細



5. まとめ

・現在は、STEP 5-2の段階である。

北陸新幹線駅舎の工程に合わせて、仮設通路の変更を行うため、工程の調整をした。

また、仮設通路が工事現場内を通過するため、仮設屋根や照明器具設備を設置し、通行者の安全を確保した。

今後、6-1, 2の切替えを行うことになるが、県外からのお客様や市民のために、安全で快適な駅東口 - 西口間の仮設通路を確保し、工事を完成させたい。